

# 医療勤務環境改善に関するアンケート 集計結果

## 調査の概要

### 調査の目的

勤務環境の改善に取り組む医療機関への支援を進めるにあたり、医療勤務環境改善事業の認知度や医療機関における勤務環境改善の取り組み状況などを把握することが重要と考え、アンケートを調査を実施した。

### 調査項目

- I 医療勤務環境改善事業の認知について
- II 医療機関の取組について
- III 高知県医療勤務環境改善支援センターの利用について

### 調査方法

対象施設 : 高知県内の医療機関216施設(病院130、有床診療所86)  
回収方法 : アンケート票を郵送で送り、FAXで回収  
実施期間 : 平成28年7月25日(月)～平成28年8月5日(金)

### 回収結果

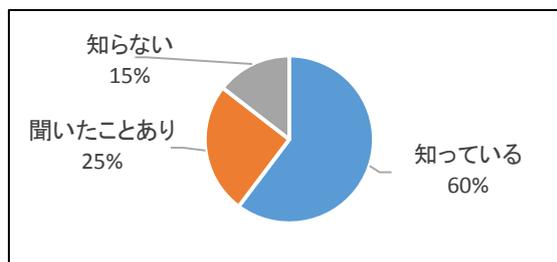
回答数 : 83  
回収率 : 38.4%

## 調査結果

### I 医療勤務環境改善事業の認知について

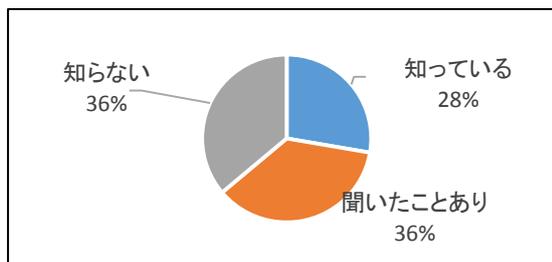
設問1 医療法が改正され、平成26年10月から「医療機関の管理者は、医療従事者の勤務環境の改善に努めなければならない」ことになっていますが、これをご存知ですか。(一つだけ選択)

回答	件数
知っている	50
聞いたことあり	21
知らない	12
合計	83



設問2 勤務環境改善を行うための参考となる「勤務環境改善マネジメントシステム」があることをご存知ですか。(一つだけ選択)

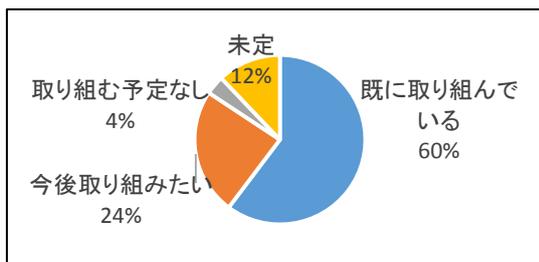
回答	件数
知っている	23
聞いたことあり	30
知らない	30
合計	83



## II 医療機関の取組について

設問1-1 現在、勤務環境改善に取り組んでいますか。(一つだけ選択)

回答	件数
既に取り組んでいる	50
今後取り組みたい	20
取り組む予定なし	3
未定	10
合計	83



### 補足コメント

勤務環境に大きな課題はない。具体的にどんなことをすべきかわからない。(「未定」を選択した1医療機関)

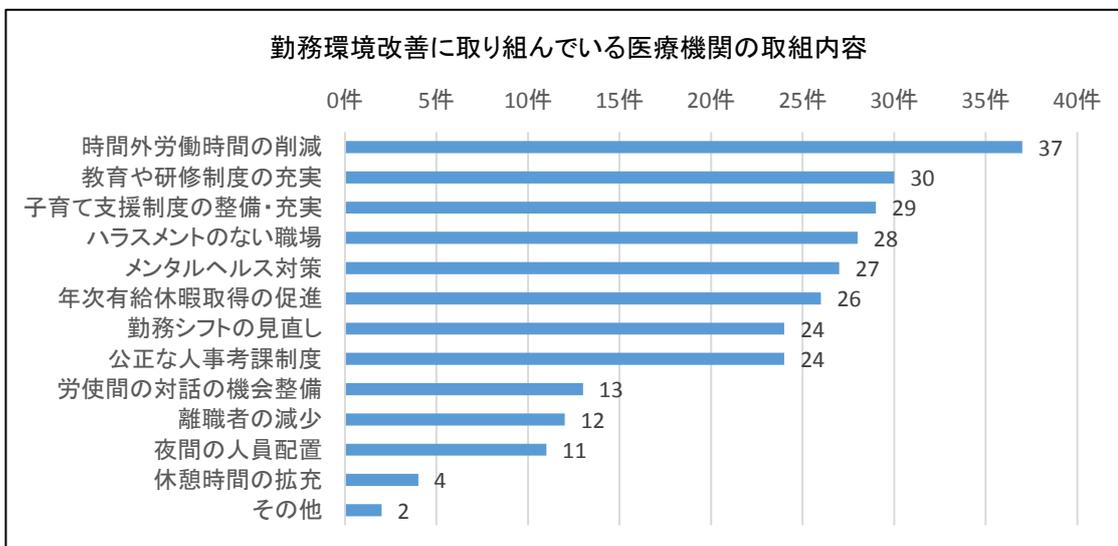
設問1-2 「既に取り組んでいる」と回答した場合  
当てはまる取り組みに○を付けてください。(複数選択可)

### 50医療機関の回答

回答	件数
時間外労働時間の削減	37
教育や研修制度の充実	30
子育て支援制度の整備・充実	29
ハラスメントのない職場	28
メンタルヘルス対策	27
年次有給休暇取得の促進	26
勤務シフトの見直し	24
公正な人事考課制度	24
労使間の対話の機会整備	13
離職者の減少	12
夜間の人員配置	11
休憩時間の拡充	4
その他	2

### 「その他」の記入内容

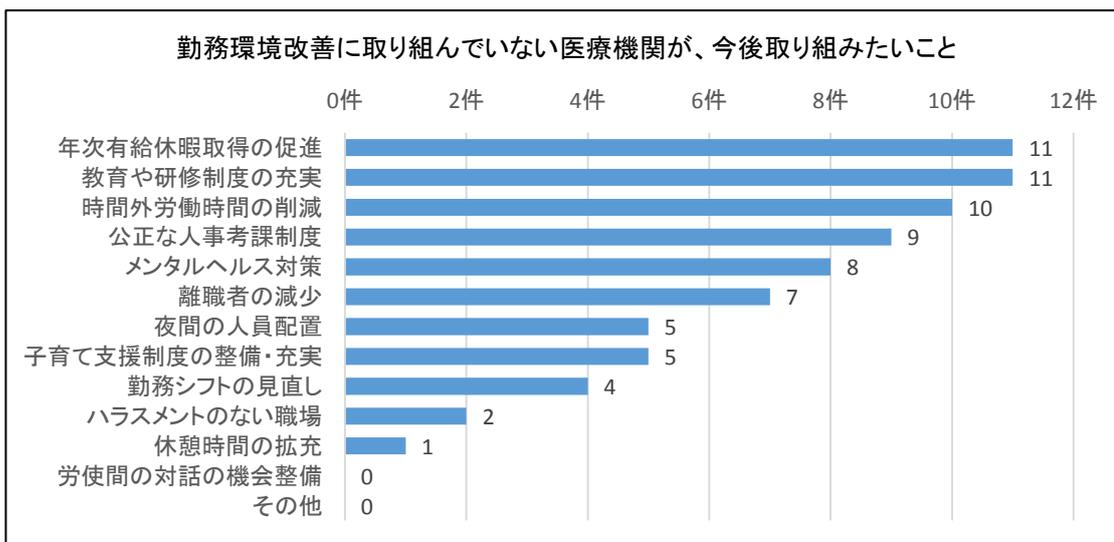
- ・十分な賃金体制
- ・福利厚生拡充等



設問1-3 「今後取り組みたい」と回答した場合  
 当てはまる取り組みに○を付けてください。(複数選択可)

20医療機関の回答

回答	件数
年次有給休暇取得の促進	11
教育や研修制度の充実	11
時間外労働時間の削減	10
公正な人事考課制度	9
メンタルヘルス対策	8
離職者の減少	7
夜間の人員配置	5
子育て支援制度の整備・充実	5
勤務シフトの見直し	4
ハラスメントのない職場	2
休憩時間の拡充	1
労使間の対話の機会整備	0
その他	0

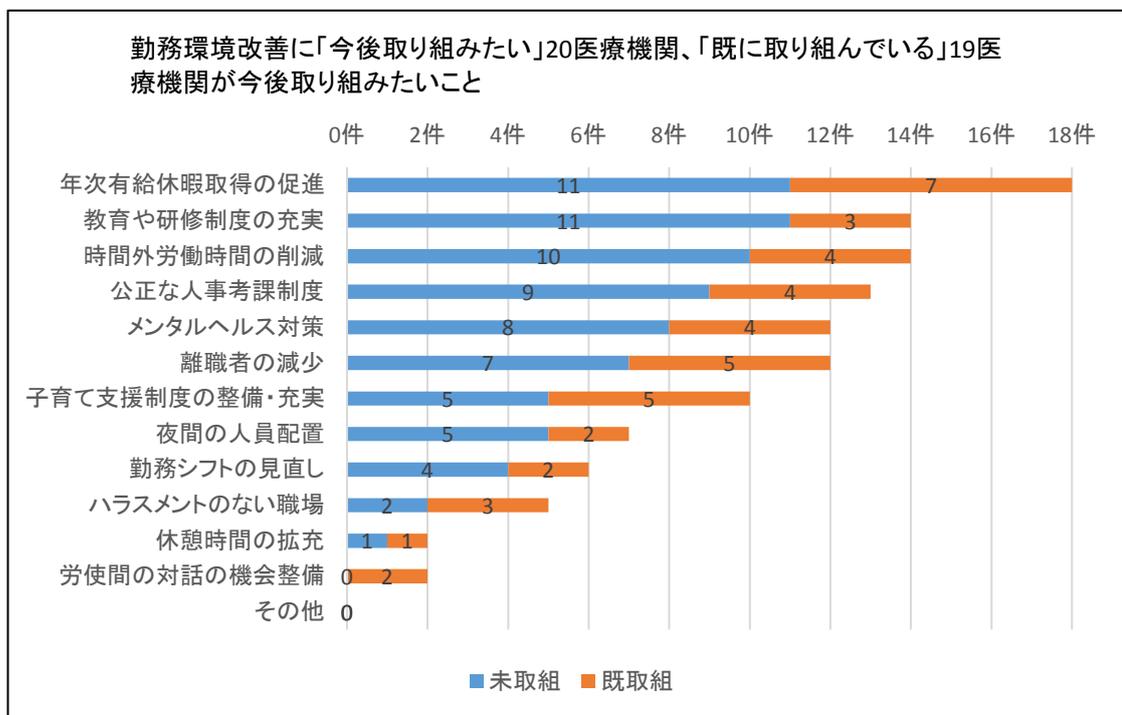


参考 設問1-3では、設問1-1で「今後取り組みたい」を選択した医療機関に回答を限定した。しかし、「既に取り組んでいる」医療機関50件のうち19件にも回答をいただいた。参考のため、上記の結果に加えて集計を行った。

勤務環境改善に「今後取り組みたい」20医療機関、「既に取り組んでいる」19医療機関が今後取り組みたいこと。

回答	未取組	既取組	合計
年次有給休暇取得の促進	11	7	18
教育や研修制度の充実	11	3	14
時間外労働時間の削減	10	4	14
公正な人事考課制度	9	4	13
メンタルヘルス対策	8	4	12
離職者の減少	7	5	12
子育て支援制度の整備・充実	5	5	10
夜間の人員配置	5	2	7
勤務シフトの見直し	4	2	6
ハラスメントのない職場	2	3	5
休憩時間の拡充	1	1	2
労使間の対話の機会整備	0	2	2
その他	0	0	0

未取組＝今後取り組みたい  
 既取組＝既に取り組んでいる



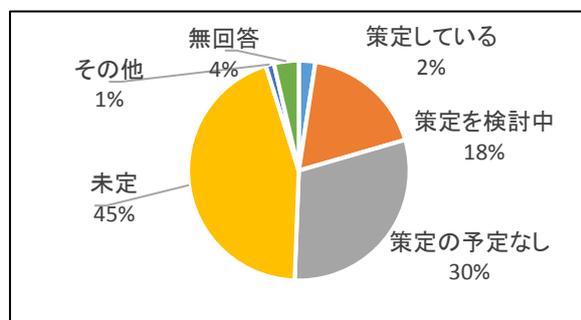
設問1-4 「取り組む予定なし」と回答した場合  
 当てはまる理由に○を付けてください。(複数選択可)

3医療機関の回答

回答	件数
勤務環境に大きな課題はない	3
取り組み方が分からない	0
取り組みたいが、時間がない	0
取り組みたいが、費用がない	0
その他	0

設問2 「勤務環境改善マネジメントシステム」を導入し、勤務環境の改善計画を策定していますか。  
 (一つだけ選択)

回答	件数
策定している	2
策定を検討中	15
策定の予定なし	25
未定	37
その他(集計時に追加)	1
無回答	3
合計	83



「その他」に分類した1件について

・アンケート票では「策定している」と回答していたが、「上記システムと合致しているのかは不明」との補足コメントがあった。勤務環境改善マネジメントシステムを導入できているのか不明確なので、「その他」に分類した。

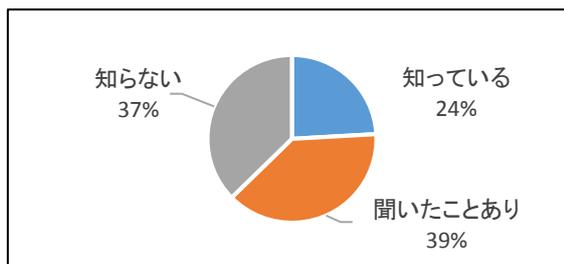
補足コメント

・マネジメントシステムに依らず現実問題に当って対応している。(無回答だった1医療機関)

### Ⅲ 高知県医療勤務環境改善支援センターの利用について

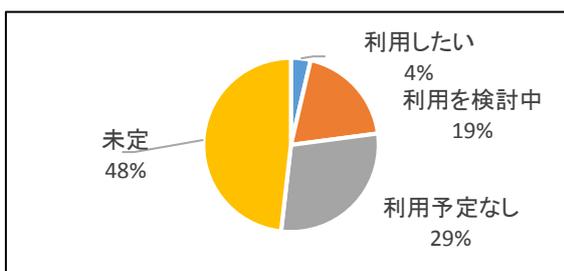
設問1 当センターでは、専門分野のアドバイザーが勤務環境改善に関する相談支援を無料で行っていることをご存知ですか。(一つだけ選択)

回答	件数
知っている	20
聞いたことあり	32
知らない	31
合計	83



設問2-1 当センターの専門アドバイザーによる相談支援を利用したいと思いますか。(一つだけ選択)

回答	件数
利用したい	3
利用を検討中	16
利用予定なし	24
未定	40
合計	83



設問2-2 「利用予定なし」と回答した医療機関にお尋ねします。利用する予定が無い理由に○を付けてください。(複数選択可)

#### 24医療機関の回答

回答	件数
勤務環境に不満がない	11
効果が期待できない	1
支援内容が分からない	3
外部から関与されたくない	4
その他	6

#### 「その他」の記入内容

- ・社会保険労務士に問題なしと言われている。
- ・社会保険労務士と顧問契約を結んでいる。
- ・複数のアドバイスの機会があり活用している。
- ・現在実施している改善策で効果を実証中のため。
- ・病院内で勤務環境改善に取り組んでいる。
- ・WLBIに取り組んでいるため。

#### 補足コメント

- ・元気な職員は65歳以上も勤務している。定年退職による補充にも、すぐに反応がある。  
(「勤務環境に不満がない」を選択した1医療機関)
- ・職員数の不足が一番の問題。(「効果が期待できない」を選択した1医療機関)

IV 高知県医療勤務環境改善支援センターに希望する支援、研修会でとりあげてほしいテーマなど、ご自由にご記入ください。

意見1

貴センターに要望すべきことかどうかは別として、人手不足(特にナース)を解消する良い方法があったら、一緒に考えていただきたく思います。勤務環境を改善したいと思うのですが、とにかく人手が足りないのが現状です。

意見2

守らなければならない医療勤務環境とはどんな状態なのかわからないので、そこを教えてほしい。そのうえで当院の改善しなくてはいけない点を検討したい。

意見3

そもそも、医師・看護師が不足しているため、過重労働を強いられている。抜本的な解決策としては、県をあげて確保していただく必要がある。(既に取り組まれているのは承知しておりますが)

意見4

時間内に限り、無駄なく業務を遂行し、充実感を得るための研修、幡多地区で病院や介護施設等を対象に是非お願いします。

意見5

一部機能を休止したことに伴い、職員全体の勤務環境が別の意味で変わってきているので、そちらを優先し、まずは体制作りに専念し、それから勤務環境について考えていきたいと存じます。

## アンケート調査結果の総括

### I 医療勤務環境改善事業の認知について

設問 1 医療従事者の勤務環境改善が努力義務となっていることの認知度  
知っている 60% + 聞いたことあり 25% = 85%  
⇒ 大部分の医療機関に知られている。

設問 2 勤務環境マネジメントシステムの認知度  
知っている 28% + 聞いたことあり 36% = 64%  
⇒ 「知っている」割合が小さい。十分に知られていない。

※今後支援を拡大していくため、システムの認知度をもっと上げる必要がある。

### II 医療機関の取組について

設問 1-1 勤務環境改善の取組状況  
既に取り組んでいる 60% + 今後取り組みたい 24% = 84%  
⇒ 大部分の医療機関で勤務環境改善に取り組む意欲がみられる。

設問 1-2 既に取り組んでいる内容  
上位 3つ ・時間外労働の削減  
・教育や研修制度の充実  
・子育て支援制度の整備・充実 } 今後取り組みたい内容でも上位

設問 1-3 今後取り組みたい内容  
上位 3つ ・年次有給休暇取得の促進  
・教育や研修制度の充実  
・時間外労働の削減 } 既に取り組んでいる内容でも上位

設問 2 勤務環境マネジメントシステムを導入した改善計画の策定状況  
「策定している」が 2%だが、「策定を検討している」が 18%  
⇒ 今後、策定する医療機関が増える可能性あり。  
「未定」が 45%  
⇒ 理由の 1 つにシステムの認知度が十分ではないことが考えられる。

※大部分の医療機関は勤務環境改善に取り組む意欲があり、取り組みたい内容が定まっている。システムの有効な使用方法が伝われば、導入を希望する可能性がある。システムの有効な導入例の紹介が重要となる。

### III 高知県医療勤務環境改善支援センターの利用について

設問 1 当センターの業務内容の認知度  
知っている 24% + 聞いたことあり 39% = 63%  
⇒ 「知っている」割合が小さい。十分に知られていない。

設問 2-1 当センターの利用予定

利用したい 4% + 利用を検討中 19% = 23%

⇒ 2割強が利用を前向きに考えている。今後利用が増える可能性あり。

「未定」が 48%

⇒ 理由として、活動内容が十分知られていないこと、支援実績が豊富ではないことが考えられる。

設問 2-2 当センターを利用する予定がない理由

1位 勤務環境に不満がない

2位 その他

(専門アドバイザーや WLB の活用中)

3位 外部から関与されたくない

} 上位は医療機関側の状況を理由とする回答。

※医療施設側から見れば、当センターの利用は勤務環境改善を行う方法の 1 つであるため、業務内容の紹介と同時に、利用するメリットの発信が重要となる。また、利用を前向きに考えている医療機関に対しては、研修会開催やモデル支援事業募集などの情報提供を行い、利用意欲を向上させる、利用するきっかけを作る必要がある。